＜総合振興計画進行管理表＞

施策評価表
（行政分野別計画）

1．基本事項

作成日 平成29年07月24日(月)

施策	公共交通の利便性の向上	期間	H.25 ～H.29	施策担当部課名	都市計画課

総合振興計画			施策の概要（目的や対象）
行政分野別計画施策名	大項目	000004 便利で機能的な都市づくり＜都市・生活基盤＞	鉄道・路線バスの利便性の維持・向上を図るとともに、これらを補完するコミュニティバスの運行を行い、効果的で効率的な運行を進め、公共交通の利便性を向上させる。
	中項目	000002 良好で快適な都市環境の形成	
	小項目	000002 公共交通の利便性の向上	
基本戦略		000001 活力を高めるまちづくり	
主要プロジェクト		000001 広域交通の利便性向上プロジェクト	

		施策の推進のための主な取り組み
重要度及び満足度の状況	市民が考える公共交通の重要度は高いが、満足度は低い状況である。	総合的な公共交通指針の策定
		民間事業者への働新運行にきかけ
施策を取り巻く社会状況等	ＪＲ高崎線や秩父鉄道は利便性が十分でない。路線バスは自家用車の普及により利用者が減少し、路線の存続が厳しくなっている。公共交通サービスを補完するコミュニティバスの拡充は限界がある。	コミュニティバスの見直し
		公共交通のバリアフリー化の推進

2．評価指標

区分	指標名（上段） 算出式・説明（下段）	単位	指標値（上段は目標値・下段は実績値） 計画初期値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
成果指標	コミュニティバスの利用者数	千人	-	94.60	95.95	97.30	98.65	100.00
			93.25	94.35	93.10	125.29	137.28	0.00
	市内の公共交通機関の利便性に満足していると答え市民の割合	%	-	41.20	45.00	48.40	51.70	55.00
	市民アンケート		38.40	38.40	43.90	40.00	37.90	0.00
			-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

3．一次評価(今後の施策の方向性)

区分	1	1：現状維持　2：拡充　3：縮小

＜評価コメント＞

平成２７年４月から新運行へ移行し２箇年が経過した。改定前と比較し定時定路線の運行経路やデマンドバス（予約型バス）の導入等大きく変わったが、市民に定着しつつあることは利用者数からも伺える。今後は現運行の利活用を市民に浸透させ、更なる利用率の向上を目指します。

評価者	都市計画課長　小井土　秀樹

4．改善・改革プラン（3．一次評価を受けての具体的な改善策）

区分	
■	既存事業の拡充
□	事業の新規立案
□	事業の廃止・縮小
□	事務事業の再編
□	その他

具体的な対応策等

現在の運行便数や車両台数を維持しつつ利用者数を増加のため、更なるＰＲ活動に努力し、市民から見て身近な公共交通となるよう努力する必要がある。

5．二次評価

＜所属長の見解＞

利用者数のみに執着し増加を目指す場合は、車両台数の増加や運行時間を延長すれば達成できる。しかし、更なるコストを投じず運行制度や利活用を市民に浸透させようと努力している。今後もＰＲ活動を継続して行い利用者数の増加を期待する。

所属長	都市整備部長　須藤　浩一